

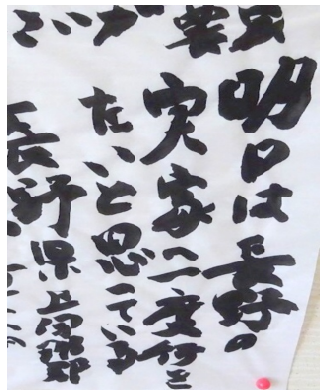
千村幸信さん 念願の 長野へ里帰り



入居してまもなく1年になる千村幸信さん。入居当時より、ご本人、ご家族、スタッフには、いつか長野の実家に里帰りしたいという想いがありました。

ある日の書道サークルで千村さんが書かれた言葉「明日は長野の実家へ一度行きたいと思っている。長野県伊那郡.....小さいが農家」普段は、ご自分からはお話をされない物静かな千村さんが、書道サークルで机に向かうなり突然すらすらと筆を走らせて書かれました。その文に、千村さんの想いが詰まっているのだろうと感じ、いよいよ「長野に行こう」という想いを強くしました。

気候も穏やかな9月の終わり、息子さんと娘さんと3人で長野の実家へ向かいました。親子3人で出掛けられるのは久しぶりとのこと。長野に到着し、出迎えて下さったのは、実家に住むお兄様ご夫婦。数年ぶりの対面に「よく来てくれたね」と長野の名物『赤そば』を御馳走して下さい、その後観光に行こうと、赤そば畑へ向かいました。雄大な大自然の中、千村さんは顔がほころび、生き活きとした笑顔をされていました。帰りにご両親のお墓に参り、ご実家へ。いつもいたりピングに腰掛け、お兄さんと子供の頃の話に花が咲き、ワハハと笑い声が飛び交いました。楽しい時間はあっという間で、帰り際「また来てよ」と声を掛けていただくとしっかりとお兄さんご夫婦と手を握り合い、号泣された千村さん。「必ずまた来る」と約束をし、長野を後にしました。(小林友記子)



書道サークルで突然書かれた長野の実家へ帰りたいという千村さんの想い



千村さん念願のお墓参り



久しぶりのお兄さんとの談笑



ご実家前で、また来てねと言われ号泣された千村さん

すずの郷



今月のベストショット
朝の8時の玄関前のお風景
お食事の3人若旦那さん
お帰りの玄關の風景
互いの合図で、あんなも若いな
お井戸端会議で、気持ちいい一日の
始です。

大野秀泰さん お墓参りで 偶然の出会い

毎日、奥さんが会いに来て下さり、仲良く過ごされている大野秀泰さん。今回、ご夫婦で7年ぶりに尾西市開明へお墓参りに行かれました。

実家に立ち寄ると秀泰さんを子供のころから知っているご近所の柴田さんに偶然お会いすることができました。「あれー！秀ちゃんやないのー久しぶりー」と感激で涙ぐまれ、昔話に花が咲きました。お墓参りが終わり、昼食に『こすも』へ行くと、またもや偶然にお姉さん2人と義理のお兄さん、姪っ子さんにお会いし、一緒にご飯を食べることになりました。「秀ちゃん！」とみんなが話しかけて下さり笑顔になられる秀泰さん。こんなに外出で偶然、色々な方に出会えるなんて、秀泰さんは何か引き寄せられるものがあると思いました！奥さんは「久しぶりにお墓参りに行く事ができ、嬉しかったです」と仰られていました。「来年は、養老の滝へ行こうね。お父さん」と約束をしています。今からとても楽しみです。(杉村華枝)



偶然にお姉さん2人と義理のお兄さん、姪っ子さんにお会いし、一緒にご飯を食べることになりました。



懐かしい柴田さんとの出会い



こすもでの偶然の出会い!!

恒例の春と秋の お墓参り 松浦かずゑさん

春と秋に定期的にお墓参りに出掛けられる松浦かずゑさん。毎回、大好物のカレーを食べながらお墓参りに出掛けるのが恒例となっています。今回も、まずはカレー屋さんでランチ。スタッフでも食べきれないほどの量のカレーを大きな口を開けて召し上がる姿には、毎回驚かされます。

ランチの後は、ご主人が眠るお墓へ。お花や線香を供えるスタッフをじっと眺めるかずゑさん。最後、お花に水をあげるのにはスタッフと一緒にかずゑさんも行きます。その後、手を合わせじっと目を閉じて参られてみえました。

この夏、食事があまりすすまなかったこともあり、ご家族もスタッフも心配しましたが、また好物のカレーを食べに行くことができ、お墓参りも無事に終え安心しました。また春も一緒にカレーを食べながらお墓参りに行き、かずゑさんの恒例行事を大切にしたいです。(佐久間恵美)



大好物のカレーをペロリ



スタッフと一緒にお花に水を

妹さんとお墓参り 川松千代子さん

今にも泣き出しそうな空模様の中、千代子さんの長女の和枝さんと、千代子さんの妹さんの

絹子さんと共にお墓参りに行きました。ご実家のお墓の前で、姉妹そろって手を合わせる姿は、とても微笑ましく感じました。しばらく振りの絹子さんとの会話は弾み、昔の思い出話が次から次へと途切れることなく続きました。千代子さんの初めての産の時、陣痛の始まった千代子さんをリアカーに乗せ、ご実家のお兄さんが西春から岩倉まで連れ帰ってくれた話には、千代子さんのみならず、私達スタッフ2人ももらい泣きしてしまいました。「じゃあ、また4月にね～」と次の約束をして絹子さんと笑顔でお別れしました。(市来久枝)



久しぶりの妹さんとのひととき



妹さんとお墓参り



妹さんの自宅の前でお見送り

恒例の 母娘旅行へ 政田政子さん



政田政子さんの娘さんより「毎年、両親と訪れていた三谷温泉の旅館があるんです」とお話を伺い、蒲郡へ母娘の1泊旅行に出掛けました。

あいにくの雨でしたが、政子さんはいつものように元気に施設を出発されました。旅館がとても素敵な所で、部屋に付いていた温泉に親子で入られ、親子水入らずの時間を過ごされていました。豪華な夕食、朝食を美味しくペロリと完食される政子さん。他にもラグーナ蒲郡フェスティバルマーケットで散策したり、蒲郡ファンタジー館でキラキラした貝殻の展示を見て「わぁ～すごいな」と、楽しませていました。「こんなに楽しく過ごせて良い思い出になりました。感謝でいっぱいです」と娘さんより。政子さんも娘さんも、終始笑顔で過ごされ、とっても仲の良い親子だなあと改めて思いました。これからも親子の思い出のある所へたくさん外出していただきたいです。
(杉村華枝)



娘さんより
両親が好きで、何回か訪れていた三谷温泉のホテルに一泊二日の旅行に行くことが出来ました。2日間とも雨降り、中々大変でしたが、楽しく過ごせるようにと色々計画していただき良い思い出となりました。
何より二日間ご一緒させていただいて、食事やトイレやお風呂や就寝中に何回もの声掛けなどお世話していただく大変さを目の当たりにし本当に頭が下がる思いと感謝でいっぱいでした。どうもありがとうございました。
(政田政子さま娘様：政田あけみ様)



大好きなスタッフと なばなの里でデート 後藤富子さん 高橋とし子さん

市松ユニットで、昼食や夕食を作っているうちに仲良くなり、日頃から息子のように慕って下さっている後藤富子さんと高橋とし子さんと、なばなの里へ出掛けました。富子さんはこの外出を楽しみにしておられ、外出前には「一緒にエビフライを食べる写真を撮る

うね」と約束しました。道中は、柿の話や日常の話で車内がとても賑やかでした。お花が好きなお二人の車椅子を交互に押し、途中から「車椅子を降りて歩く」と言われたとし子さんと一緒に歩き、園内を楽しく散策しました。お二人ともお花の名前に興味を持たれたりして、お花に本当に興味を持たれていること、とし子さんは普段はお部屋で過ごされることが多いのですが、この日はよく歩かれたこと、そして富子さんとは念願のエビフライの写真を撮り、食べることの楽しみを味わってみることをこの外出を通して知ることができ、厨房スタッフとして嬉しく思いました。お花を見ながら、本当の息子のように一緒に穏やかに楽しい時間を過ごす一日となりました。(増井儀和)



武光観光だより ～自然の癒しを感じて ローザンベリー多和田～

10月の武光観光は、滋賀県は米原にあるローザンベリー多和田へ行きました。長雨が続いていましたが、この日は雨にも降られず、秋を感じる旅行となりました。まずは美味しい南仏料理に舌鼓。皆さんモリモリといつもよりも沢山食べられていました。食事の後には体験と散策に分かれて行動。体験チームはアイシングクッキーやマグパン作り。ハロウィン前だったので、お化けの形のクッキーにチョコレートで装飾しますが、

これが結構難しいようで藤江さんも早瀬さんも四苦八苦しなながら「どう？上手いでしょう？」と楽しませていました。加藤さんは焼きあがるパンが待ちきれない様子でニコニコされていました。一方散策チームが坂道に苦労しながら着いたのは、可愛い羊さんたちがいる牧場。恐る恐る羊に触れる村井さんとニコニコしながら眺められる熊原さん。ローザン鉄道にも乗ることができました。最後はみんなでガーデンのバラやシュウメイギク、綺麗な花を沢山観て帰路につきました。(遠藤寛)



体験チームのクッキー作り

加藤政子さんは、マサコという名前の花と一緒に記念撮影

動物とのふれあいは楽しいね

散策チームは電車でレッツゴー